

令和6年度 事業報告書

社会福祉法人創和会

目 次

【各部署の年度報告】

地域密着型特別養護老人ホーム	2
通所介護事業（デイサービス）	4
訪問介護事業（ヘルパーステーション）	6
居宅介護支援事業（ケアマネジメントセンター）	9
グループホーム	1 3
看護グループ	1 6
総務管理課（法人本部事務局）	1 7

各部署の年度報告

地域密着型特別養護老人ホーム

令和 6 年度主要目標に対する実績

(1) 部門経営の安定化

【実績】

入居率（居室稼働率）は 99.4%と、目標を達成出来ました。近年は、重度要介護高齢者の積極的なご入居受け入れ態勢もあり、入居期間が短い傾向にありますが、今年度ご逝去された 6 名様のうち 5 名様が昨年中に入居された方々で、その 5 名様の平均入居日数は 342.2 日で 1 年未満でした。もともとご入居を希望されていた方でしたが、空所利用でのショートステイを 2 度ご利用され、本入居へと繋がりました。令和 6 年 4 月から介護報酬改定があり、同月の請求分より「口腔衛生管理加算」を取得し計上しています。

(2) 介護職員等の体制確保

【実績】

積極的な人材確保を行った結果、令和 7 年 3 月には派遣職員に頼らない体制となりましたが、現実的な人員不足の解消には至っておりません。今年度は退職した職員は 3 名おりましたが、今年度中に入職した職員 6 名は安定して勤務を継続していますし、既存の職員が時間や日数を増やすことで、少しずつ改善へ向かっています。毎月のユニットミーティングや各種会議を定期的に行い、意見交換の出来る風通しの良い環境作りに努めました。介護ロボット導入は検討しましたが、導入には至りませんでした。

(3) 介護の質の向上

【実績】

法定研修以外の研修も実施するようにしました。ユニットケア研修は行えませんでした。外部の業者にオムツの当て方の研修のお話を頂き、新旧合わせて多くの職員を集めて実際のケアに必要な知識を深めることが出来て、実務に繋がる学びの機会となりました。朝や夕方の申し送りやユニットミーティング、各カンファレンスなどで、関係各職の情報共有の機会を持てるように努めました。例年と同じような薬に対するヒヤリハット報告も多くありましたが、大きなケガや入院に至る事故はありませんでした。しかし、明らかに介護技術の不足による事例では、対象職員に対する個別指導を職員同士で行うなど、介護職員としての意識を変えていくよう努めました。

「全体総括」

今年度は、令和 6 年 6 月に 1 名様、令和 6 年 12 月から令和 7 年 2 月までで 5 名様にご逝去されました。1 つのユニットで 2 名様が同時期にお看取りに入る事もありました。また、お看取りの時期だけではありませんでしたが、ご面会のルールを出来る限り緩和し、地域密着型の特別養護老人ホームとして、ご入居者をはじめご家族に対するきめ細やかな個別ケアを行うことが出来ました。

令和 7 年 2 月に東京都と町田市から実地指導が入り、令和 7 年 3 月から令和 7 年 5 月までの 3 か月間、身体拘束廃止未実施減算を計上する事となりました。翌月には、身体拘束廃止に関しての業務の見直しと改善を行い、既に報告が済んでいます。

1, 令和6年度 特別養護老人ホーム事業実績（収入・稼働率等）

金額単位：千円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
①前年度収入実績	9,465	9,778	9,826	9,720	9,996	10,347	9,303	9,773	9,992	9,823	10,002	9,562	117,587	
②収入予算	9,760	10,086	9,760	10,086	10,086	9,760	10,086	9,760	10,086	10,086	9,110	10,086	118,752	
③収入実績	9,579	11,460	10,253	10,485	9,605	12,043	10,336	9,849	10,539	11,040	9,650	9,867	124,706	
④(②-③)差額	181	-1,374	-493	-399	481	-2,283	-250	-89	-453	-954	-540	219	-5,954	
⑤(③/②) 予算達成率	98.1%	113.6%	105.1%	104.0%	95.2%	123.4%	102.5%	100.9%	104.5%	109.5%	105.9%	97.8%	105.0%	
⑥居室数	600	620	600	620	620	600	620	600	620	620	560	620	7,300	
⑦目標稼働居室	594	614	594	614	614	594	614	594	614	614	554	614	7,228	
⑧稼働居室	600	620	595	620	620	600	620	600	610	595	554	620	7,254	
⑨(⑧/⑥) 稼働率	100.0%	100.0%	99.2%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	98.4%	96.0%	98.9%	100.0%	99.4%	
四 半 期	⑩居室	1,820			1,840			1,840			1,800			7,300
	⑪稼働 居室	1,815			1,840			1,830			1,769			7,254
	⑫(⑪/⑩) 稼働率	99.7%			100.0%			99.5%			98.3%			99.4%
入居者数		0	0	1	0	0	0	0	0	4	1	0	6	
退居者数		0	0	1	0	0	0	0	0	2	2	1	6	

2, 令和6年度 特別養護老人ホーム事業実績（外部来訪者・実習受け入れ等）

(1) 学校実習生等の受け入れ実績

学校名	学年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
町田福祉専門学校	1年													0名
北里大学	2年													0名
														0名
														0名
														0名
		第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			総計
		0名			0名			0名			0名			0名

(2) ボランティア受け入れ実績（延人数）

(2) ボランティア受け入れ実績（延人数）													
ボランティア（個人・団体）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
住民の会（ぶどうの会）	15名	15名	13名	14名	13名	16名	13名	13名	16名	19名	18名	18名	183名
生け花（七沢様）													0名
書道（雨宮様）													0名
歌の会（歌の会）													0名
ハンドマッサージ（清水様）													0名
ゆうき堂体操													0名
成瀬教会													0名
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			総計
	43名			43名			42名			55名			183名

通所介護事業（デイサービス）

介護事業の充実

① 通所介護事業の継続

令和6年度も前年に引き続き、デイサービスの新規ご利用者の確保を最優先課題として動いて行きました。コロナ5類や物価高騰など以降、新規のご利用者の問い合わせ自体が少なくなりました。既存のご利用者を増回などの提案してまいりましたが、毎月の予算達成には届かずと終わりました。

送迎範囲の見直しや、新規見学希望者などの強化に努めてまいりました。

各ケアマネジャーと定期的に連絡を取りながら、空き状況やエリアの確認などを伝え新規利用者の確保に努めました。

また、常勤職員には相談員業務を習熟するよう定期的に常勤ミーティングを実施してまいりました。

- i) ケアセンター成瀬では、感染対策の継続を、併せて取り組んでいる感染対策状況を伝えました。また、他事業所のデイサービスの感染対策を把握して改善出来る点を改善して行きました。

新規見学希望は、受入対応し新規利用者確保につながるようにと実施してまいりました。また、送迎範囲の見直しをドライバーと共有しながらしてまいりました。

- ii) スタッフの統一したケアが出来るように、常勤ミーティングを業務終了後に行ない業務改善に繋げて行きました。

外部からのボランティア来訪を一部、改善して受け入れるようになりご利用者を楽しませたいイベント企画を実施してまいりました。

- iii) 感染症予防の取り組みとしては、行政からの情報や感染対策委員会など確認しながら運営してまいりました。

ご利用者には、マスクの着用、迎え前の検温、ご家族の体調の申告等をお願い継続してまいりました。

デイサービス内では、職員の体調管理や業務に就く際の衛生対策、マスク、ディスポグローブの着用を行いました。

ご利用者には食事以外の時間のマスク着用、密を回避する座席の配置、送迎車両の定員数や時間帯などの調整、趣味活動では住民の会ボランティア中心にご協力をいただき午後の趣味活動時間お願いしてまいりました。ご利用者の中にはケアセンター成瀬デイサービスには趣味活動を楽しみに来所されている方が多くいますので、趣味活動を支えるボランティアの方々にあっても、スタッフにより季節の作品の作成や脳トレ関連のプリントを活用してサービス提供中の時間を充実して過ごせる工夫を行いました。

② 社会貢献

成瀬台小5年生の交流体験を中止となりました。

成瀬台小2年生の職場見学を10名受け入れました。

今後、見直し改善をして受け入れていきたいと考えております。

令和6年度収入実績

一般型通所介護事業所（総合事業を含む。）
実績金額：80,425千円、対予算比：80.4%

令和6年度年度デイサービス利用実績

1. 令和6年度 利用者換算人数

単位：名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計	月平均
一般型	736	710	654	741	771	757	809	748	618	578	511	597	8230	686
認知症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2. 令和6年度 入浴サービス利用者曜日別人数

単位：名

	月	火	水	木	金	土	平均
人数(名)	10	10	8	10	9	9	9.3

3. 令和6年度 学習療法利用者人数

単位：名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計	月平均
人数(名)	10	10	10	10	9	9	9	9	10	9	10	10	115	9.6
増加人数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0.1
減少人数	0	0	0	0	1	1	1	1	0	1	0	0	5	0.4

4. 令和6年度 新規・終了利用者数

単位：名

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		年間合計	
	新規	終了	新規	終了	新規	終了	新規	終了	新規	終了	新規	終了	新規	終了
一般	2	4	4	3	1	1	0	2	0	0	5	1	30	30
認知症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総合事業	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	5	4
合計	3	4	5	3	1	1	0	2	1	0	5	1	35	34
	10月		11月		12月		1月		2月		3月		月平均	
	新規	終了	新規	終了	新規	終了	新規	終了	新規	終了	新規	終了	新規	終了
一般	1	2	1	1	3	1	2	5	2	6	9	4	2.5	2.5
認知症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総合事業	0	0	1	0	0	2	0	1	0	1	1	0	0.42	0.33
合計	1	2	2	1	3	3	2	6	2	7	10	4	20	23

5. 令和6年度 実習生(体験学習)受入れ及びボランティア活動人数(延べ人数)

単位：名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
北里大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和薬科大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
町田福祉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
成瀬台中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
各種ボラ	70	72	70	72	71	76	74	76	78	70	66	72	867	72.25
その他	0	4	0	2	0	4	0	0	10	3	0	1	24	2
合計	70	76	70	74	71	80	74	76	88	73	66	73	891	74.25

6. 令和6年度 収入実績

単位：千円

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
一般	R5実績	7,235	7,476	7,164	7,046	5,992	6,269	6,590	6,636	6,850	5,885	6,032	7,260	80,435
	R6予算	8,443	8,443	8,393	8,443	8,234	8,418	8,418	8,393	8,393	8,183	8,066	8,183	100,010
	R6実績	7,237	6,686	6,699	6,828	7,720	7,255	8,067	7,206	6,283	5,337	5,204	5,903	80,425
	対前年比	100.0%	89.4%	93.5%	96.9%	128.8%	115.7%	122.4%	108.6%	91.7%	90.7%	86.3%	81.3%	100.0%
	対予算比	85.7%	79.2%	79.8%	80.9%	93.8%	86.2%	95.8%	85.9%	74.9%	65.2%	64.5%	72.1%	80.4%

訪問介護事業部（ヘルパーステーション）

1、事業実績

（1）訪問介護・日常生活支援総合事業

月平均155名の利用で、利用時間は月平均1,420時間となりました。

昨年度と比較すると利用者約5名減少、派遣時間は約10時間増えました。

今年も年末から年始にかけて入院、入所、ご逝去が度重なり、安定した利用者数の維持が困難となりました。

新規受け入れは年間で63名（昨年度より13名増加）、終了者が56名でした。

終了者については、R6年12月～R7年3月にかけて15名終了、10名入院となり、12月から後半の実績の減少の要因になったと考えています。

（2）居宅介護・重度訪問介護（障害福祉サービス）

居宅介護の利用者は月平均8名、重度障害の利用者は（12月にご逝去となりました。）1名でした。

利用時間は月平均117時間で、昨年より3時間減少しました。

今年度は9月に南地域の訪問介護事業所が閉鎖になり、その事業所から新規利用者2名の受け入れを行いました。

1名いらした重度障害の難病（ALS）の方については、令和3年4月から利用がスタートされ、多い月では100時間近いサービス提供させて頂きました。

第3号（特定の方対象）喀痰吸引資格を取得し、人工呼吸器と本人の胸の上下運動を確認しながら、わずか10秒程度で行わなければならない気管切開部からの吸引は難易度が高い行為でしたが職員一同で取り組みました。今後のサービス提供に大いに役立てられる経験をさせて頂きました。令和6年12月に自宅で看取らせて頂く事ができ、ご家族からも感謝のお言葉を頂きました。

（3）制度外訪問介護（自費サービス、院内付き添い等）

月平均13名の利用がありました。時間数は月平均34.1時間で、昨年より3.8時間減少となりました。

2、事業総括

1（方針）「介護事業の充実」利用者のニーズに合ったサービスの提供。

【実績】利用者のニーズに合ったサービス提供が出来る事、虐待防止に向けた研修、介護職員のスキルの維持、向上に努め、今年度も以下の研修を受講しました。

（1）施設内全体研修（日付は開催日）

①「入浴介助と移乗介助」	6/20	18:00～19:00	21名
②「認知症ケア」	9/19	18:00～19:30	28名
③「BCPと感染防止研修」	10/24	18:00～19:30	27名
④「虐待防止研修」	2/27	17:50～16:50	37名
※欠席者には研修事後アンケートを提出してもらいました。			
⑤「高齢者見守り人材向け出前講座」	3/27	18:00～19:30	20名

(2) 部門内研修

①「2024 介護報酬改定について」	6/23	オンライン研修
②「生産性向上セミナー」	7/24	〃
③「日本在宅ケアサミット 2024」	7/28	〃
④「障害者虐待防止、権利擁護研修」	8/20	〃
⑤「指定更新事業所研修会」	10/15	〃
⑥「高齢社会を共に生きる」	12/7	〃
⑦「高齢社会者虐待防止、権利擁護研修」	12/15	〃
⑧「高齢者、障害者サービス事業所集団指導」	1/20	〃
⑨「町田市第 3 号喀痰吸引研修」	2/8, 9	町田病院にて

※特定の難病の方へ喀痰吸引が出来るよう研修を受けました。

2 (方針)「経営の安定化」介護スタッフの確保と運営。

【実績】令和 6 年度は 3 3 名の登録ヘルパーと、1 2 名の内勤スタッフでサービス提供をしてまいりました。登録ヘルパーが 4 名、内勤スタッフ 1 名の退職がありましたが、9 月に他事業所の閉鎖に伴い、新にヘルパー登録者が 2 名、内勤ヘルパーが 1 名入職致しました。ヘルパーの高齢化も止められない現状となっていますが、個々の特性を鑑みて派遣を実施してきました。

3 (方針) 地域貢献。

【実績】地域にお住いの難病の利用者に対して「第 3 号喀痰吸引」を受けました。家族で対応困難な排泄介助の緊急要請に柔軟に対応しました。

全体総括

2024 年 4 月から訪問介護の報酬改定は約 2 % のマイナス改定となり、厳しいスタートとなりました。

それに加え、ヘルパーの高齢化、人材不足、介護報酬の高い身体介護が出来るヘルパーの減少などが加わり、実績も予算に達する事が出来ませんでした。

訪問介護は個人で利用者宅に訪問しサービス提供致します。ヘルパーにかかる心理的、肉体的負担と接遇マナーも求められています。

来年度は、ヘルパーのメンタルフォロー、相談が出来る事業所の環境作りなど、安心して働ける職場づくりへの取り組みを改めて見直し行っていくと共に、基本的な身だしなみ、挨拶などの接遇マナーの振り返りの講習も開催していきたいと思えます。

また、2025 年 2 月 13 日に実地指導を受けました。指摘を受けた「記録」を始めとした根拠書類の作成も、日々のサービス提供と並行し行っていく必要があります。

職場環境の見直し、効率の良い業務進行も併せて見直したいと考えています。

地域の利用者に満足して頂け、働くヘルパーの皆さんからも頼られるオープンな事業所運営を心掛けていきたいと思えます。

令和6年度ヘルパーステーション利用実績

別表1 介護保険

単位:名

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総利用者数	R5年度	160	166	165	163	161	160	155	163	153	155	152	150	1,903
	R6年度	150	151	161	165	158	157	158	157	161	154	145	146	1,863
要介護者数	R5年度	106	110	109	111	111	110	105	110	102	105	105	104	1,288
	R6年度	103	104	111	113	111	108	110	112	117	111	101	101	1,302
要介護 法人内CM	R5年度	40	40	39	40	40	40	38	41	36	37	40	41	472
	R6年度	40	39	43	44	43	42	41	42	45	42	37	40	498
要介護 法人外CM	R5年度	66	70	70	71	71	70	67	69	66	68	65	63	816
	R6年度	63	65	68	69	68	66	69	70	72	69	64	61	804
要支援者数	R5年度	61	56	50	52	50	50	50	53	51	50	49	46	618
	R6年度	47	47	50	52	47	49	48	45	44	43	44	45	561
新規 利用者数	R5年度	6	3	7	3	5	4	2	8	4	1	5	5	53
	R6年度	4	5	11	7	0	9	8	4	4	2	6	3	63
派遣時間	R5年度	1,474	1,552	1,531	1,550	1,417	1,506	1,374	1,344	1,346	1,240	1,266	1,318	16,918
	R6年度	1,397	1,416	1,384	1,561	1,446	1,418	1,455	1,475	1,461	1,408	1,203	1,407	17,031
登録HP 活動人数	R5年度	33	33	33	33	33	33	32	31	31	31	34	34	391
	R6年度	34	35	35	34	34	35	36	34	34	32	33	34	410

別表2 障がい

単位:名

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
居宅介護 利用者数	R5年度	8	8	8	8	8	8	8	8	7	8	7	7	93
	R6年度	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
重度訪問 利用者数	R5年度	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	R6年度	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	9
移動支援 利用者数	R5年度	1	0	1	0	1	1	1	1	1	1	0	0	8
	R6年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
派遣時間	R5年度	118.75	138.5	128	123	138.75	98.5	132.5	125.5	109.75	95.2	101.9	107.2	1417.55
	R6年度	11.05	101.5	113.75	97.5	87	170.5	186.5	182.25	104.59	74.5	70.25	85	1284.39

別表3 制度外

単位:上段/時間、下段/名

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
派遣時間	R5年度	23.5	53.5	36.5	48	49	45	39	39.5	35.5	26	35	25	455.5
	R6年度	32.5	40	32	22	19	22.5	27.5	34	28	35	52	65.5	410
利用者数	R5年度	18	20	16	22	18	20	19	18	17	14	19	11	212
	R6年度	13	17	12	10	8	9	12	12	13	15	19	13	153

別表4 介護保険(制度外含む)

単位:千円

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総収入	R5年度	6,996	7,765	6,568	7,331	6,386	7,071	6,344	6,658	6,136	5,634	5,664	6,108	78,661
	R6年度	5,595	6,705	6,970	7,181	6,203	6,170	6,672	6,535	6,989	6,349	5,622	6,687	77,678

別表5 実習生受け入れ

単位:名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
町田福祉保育専門学校								2					2
北里大学医学部													0

※「別表1」内の「法人内CM」…創和会のケアマネジメントセンター（ケアマネ）

「法人外CM」…創和会以外のケアマネジメントセンター（ケアマネ）

居宅介護支援事業部（ケアマネジメントセンター）

【総括】

今年度は介護保険制度改正があり、各サービスの介護報酬及び加算の変更等によるケアプランの変更が必要となり、変更点について利用者へ丁寧な説明を行いました。虐待防止委員会の設置や感染対策の取り組み等も義務化され、新たな取り組みとして行っていました。

ご利用者の傾向については、新規でお受けしてから、入院や入所、逝去等で終了になるまでの支援期間が短くなっている一方、癌の終末期や難病、一人暮らしの認知症の方、身寄りがいない方等、難度の高い支援も増えており、保健所や障がい者支援センター、生活援護課等と連携し支援にあたるなど、ケアマネジャーの負担が増えました。

また、団塊世代が75歳以上となる所謂「2025年問題」の影響もあり、介護保険をご利用になる世代の暮らしぶりやご要望が大きく変わってきているのを実感しました。多忙なご家族が増え、仕事と子育てをしながら介護も行うご家族の悩みに直面する機会が増えました。

更に、当事業所の所在地である成瀬台の高齢化も一層進み、できる限り新規のご利用者をお受けしましたが、マンパワー不足でご依頼があっても受け入れが追い付かない状況でした。

このような社会的な変化の影響を受けるなか、今年度は急遽介護請求システムの入れ替えや、2月には6年ぶりに町田市の実地指導が入る等、例年になく大きな出来事もありました。これらに対し、日々の業務と同時並行で進め、時間と労力をかなり費やしましたが、なんとか一年を終えることが出来ました。

事業運営について

1. 【計画】

ケアプラン作成を行います。お受け可能なご利用者数を増やしていきます。常勤ケアマネジャー1名につき担当件数は40件を目標とします。

【実績】

- ・要介護利用者実績は、年間延べ1924件、月平均160.3件でした。
- ・要支援利用者実績は、年間延べ198件、月平均16.5件でした。
- ・新規利用者は、要介護39件、要支援4件でした。
- ・相談のみでご利用に繋がらなかった方は27件でした。
- ・終了となった方は年間47件でした。特に年末年始に体調を崩す方が急激に増加し、1月に7件、2月に12件の方が入院や逝去等で終了となりました。緊急の相談や調整が立て続き、ケアマネジャーは対応に追われました。
- ・ケアマネジャー（人員配置4.4人）一人当たり月37.7件。

※今年度から制度改正で要支援についてのカウント方法が変わり、3件分を1件と数えています。

今年度は、総括で述べたような状況に加え、途中、療養休暇の職員もいましたが、部署内でのフォロー体制をとり最大限取り組みました。

2. 【計画】

「特定事業所加算Ⅱ」の加算取得を継続し、東京都介護支援専門員実務者研修受け入れ、ケアマネジャー向け研修会開催等、地域のケアマネジャーの育成にも尽力します。

【実績】

「特定事業所加算Ⅱ」の取得を継続でき、特定事業所としての活動を行いました。

東京都の介護支援専門員実務者研修者の受け入れは、今年度は東京都からの依頼がなく実施する必要がありませんでした。

当事業所の主任ケアマネジャー2名が、町田市南圏域主任介護支援専門員協議会に所属し、研修会や地域ケア会議の開催等に参画しました。

その他、加算要件に応じ、週1回の部署内会議を開催しケアマネジャーのスキルアップをはかるとともに、24時間連絡体制を構築しご利用者の相談に対処し、安心に繋がるよう取り組みました。

3、【計画】

「居宅介護支援費Ⅰ」の基準を順守し法人の経営安定を目指します。

【実績】

今年度、久しぶりの町田市の実施指導では、介護報酬の減算や返還に繋がる指摘事項はありませんでした。年度初めに研修機会を設けケアマネジメントの手順を確認し、基準を順守し行うよう努めました。また、担当ケアマネごとに支援内容にばらつきがないよう、毎日のミーティングで各ケアマネの業務状況を確認しました。適切なケアプラン作成により介護保険制度の基本理念であるご利用者の自立支援に努めるとともに、できる限り新規のご利用者をお引き受けし地域のリクエストに応えるよう取り組みました。

4、【計画】

予防プラン（要支援1・2の方）作成の委託をうけます。委託数については、要介護の方のケアプラン作成に支障がない範囲とします。

【実績】

高齢者支援センターと連携し、予防プランの委託は月平均16.5件、ケアマネ一人当たり3～4件受け持ちました。

5、【計画】

町田市の委託業務として、要介護認定調査を受けます。調査員として1名配置、町田市とは電送化によるやりとりを継続しスピーディーな認定結果の判定に繋がります。

【実績】

今年度も継続し、認定調査員を専任で1名配置をしました。年間360件の調査を行いました。町田市とは電送化でのやり取りで効率的かつスピーディーな判定結果に繋がっています。また、町田市からの調査依頼のほか、港区3件、総社市1件、十日町市1件、八千代市1件と、他市からの調査依頼にも対応しました。

6、【計画】

参加加盟団体

- ・町田市ケアマネジャー連絡会
- ・町田市南圏域主任介護支援専門員協議会

【実績】

計画通り実施しました。定例会議や研修に参加するほか、他事業所のケアマネジャーと共同で研修会の企画運営やケアプラン点検事業に協力しています。

7、【計画】

営業範囲

- ・町田市内の一部（成瀬、成瀬台、西成瀬、高ヶ坂、東玉川学園）

上記以外の地域は状況によりお受けします。

【実績】

計画通り実施しました。また、玉川学園、成瀬が丘、南大谷のご利用者や、保険者は他県ですが、営業地域のご家族に引き取られておりお受けしているご利用者もいます。

8, 【計画】

営業時間

- ・9：00～17：00（電話接続：8：30～17：15）

上記以外の時間は携帯電話にて受付

【実績】

計画通り実施しました。

9, 【計画】

その他

- ・事業所内において日々の情報共有と定期的な会議を開催し、相互協力のもとチームでの支援を行います。
- ・人材育成、自己成長を目的とし、業務内外において研修機会をもうけます。
- ・関係機関との連携をはかり利用者へのより良い支援体制を構築します。

【実績】

- ・日々の朝夕礼での報連相、週1回の定期会議を行い、利用者の情報共有や意見交換、支援方針の検討等行いました。ケアマネジャーは担当制ですが、部内で密にコミュニケーションをとることで様々な視点で支援ができるよう取り組みました。
- ・外部研修にも積極的に参加し、難病やヤングケアラー、生活保護等、幅広い知識の習得に努めました。
- ・ご利用者の利用する介護保険事業所、かかりつけ医、看護師、保健師、民生委員、高齢者支援センター、障がい者支援センター、生活援護課等のフォーマルな支援だけでなく、必要時応じ地域のインフォーマルな支援団体とも適宜連絡をとりながら支援を行いました。

業務改善について

【計画】

I C Tの活用を進める

【実績】

（1）従前より使用していた介護請求システムの入替作業を行いました。新システムの活用で業務改善につながる部分と、慣れずに時間がかかる部分がありました。新システムに移行できる利用者データが限定されたため、利用者全員分の必要な帳票類の整備と保存に1年近くかかりました。新システムが11月より本稼働し、不明点等問い合わせながら進めました。

（2）ご利用者31名について、多職種連携ツール「MCS」を使用し、医師や看護師と相互伝達しました。個人情報を守りながら一斉に文章や画像を送ることができ、利用者のタイムリーな状況がチーム全員で把握しやすく手間の削減にも繋がりました。その他、ご利用者家族とはLINEやe-mail、ショートメール等も活用し、効率化をはかりました。

(3) 厚生労働省が進める「ケアプランデータ連携システム」の導入については、新しい介護請求システムの対応に時間がかかり今年度は導入できませんでした。来年度に導入予定としています。

令和6年度 ケアマネジメントセンター成瀬 事業実績

(単位:円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
居宅介護支援介護料 (加算含む)	3,037,204	2,815,817	3,083,444	3,011,023	2,965,501	2,856,102	2,798,359	2,870,515	2,859,974	2,743,947	2,499,627	2,536,299	34,077,812
介護予防プラン	82,634	75,208	75,208	81,212	66,360	70,784	70,784	70,784	78,210	70,784	97,488	78,210	917,666
認定調査	118,800	154,000	116,000	132,000	98,800	167,200	114,400	123,200	132,000	155,100	110,000	162,800	1,584,300
合計	3,238,638	3,045,025	3,274,652	3,224,235	3,130,661	3,094,086	2,983,543	3,064,499	3,070,184	2,969,831	2,707,115	2,777,309	36,579,778

グループホーム(認知症対応型共同生活介護)

1. 【目標・計画】

サービスの質の向上に関する取り組み(会議やケースカンファレンスの開催等)

【実績】

会議の中で話し合うことで、各ケースのケアの方法や活動などを検討、実践し、専門職の意見も参考に取り入れることができました。また10月に町田市の実地指導があり、法令順守に基づいた運営等について確認をすることができました。

2. 【目標・計画】

感染症対策の実践(感染予防対策・研修の開催等)

【実績】

面会や外出については感染症予防対策をした上で継続していくことができました。感染症予防の物品の確認や感染予防の研修を行い、理解を深めることができました。

3. 【目標・計画】

健康管理について(医療機関との連携・入居者の健康管理)

【実績】

毎月の内科等の定期往診、必要に応じて他等の専門科の受診、援助と年1回の健診も実施ができました。日々のバイタル測定、月1回の体重測定など行い、健康管理に努めました。

4. 【目標・計画】

事故防止・ヒヤリハットの取り組み(振り返りと委員会の開催)

【実績】

事故報告・ヒヤリハットについては積極的に提出があり回覧し、申し送り等での共有はできましたが委員会の開催や、十分な分析等まではできませんでした。

5. 【目標・計画】

日々の生活の中での取り組み・行事等(役割や楽しみの共有)

【実績】

日常の中で少しでも役割やできることなどを意識して行いました。日光浴や散歩、活動、レク、行事等も工夫をして行い、定着化した各月のイベントや行事も行って入居者様の楽しさと職員のやりがいにもつながることができました。以下 行事・イベント等

4月:桜花見 5月:こいのぼり見学 喫茶店外出 7月:七夕(短冊) 8月:夏祭り 9月:納涼会 敬老会 10月:運動会 11月:遠足 12月:Xmas 会 年越しそば 1月:おせち 初詣 2月:節分豆まき 3月:雛祭り 梅見、毎月:食事、おやつ作り、お誕生日会等

6. 【目標・計画】

職員がやりがいを感じる職場づくり(コミュニケーション・課題や目標の共有)

【実績】

救命講習や口腔に関する研修などを行い職員のスキルアップに努めました。定期的な会議や職員と管理者との面談も行い、スタッフ間のコミュニケーションがとれるようにしました。

7. 【目標・計画】

業務内容の目的や手順の明確化(目的や手順の明確化)

【実績】

業務の中で問題があれば手順ややり方を変えるなど随時行った例もありましたがそれに合わせたマニュアルの変更等はなかなかできませんでした。

8. 【目標・計画】

地域との連携・交流（地域行事への参加等）

【実績】

近隣への外出などは行えましたが感染症の影響もあり地域との交流がなかなかできませんでした。

9. **【目標・計画】**

高齢者虐待防止と身体拘束に関する適正化の取り組み(検討会・研修の開催等)

【実績】

虐待防止・身体拘束に関する適正化検討会を定期的に開催し、不適切なケアや虐待につながる可能性のあるケアなどについて話し合い、スタッフにも内容を周知しました。年二回の身体拘束に関する適正化・虐待防止研修を開催し、法人本部の虐待防止委員会とも連携し情報の共有を行いました。

10. **【目標・計画】**

災害対応マニュアルや事業継続計画(B C P) 訓練や備品の整備(訓練と見直し)

【実績】

事業継続計画(B C P)の確認やそれに基づいた訓練も開催し、見直すべき点なども明確になりました。

11. **【目標・計画】**

令和6年度事業収入達成額と評価(稼働率97%・収入目標99,000,000)

【実績】

稼働率は空床も少なく抑えることができ目標以上の98%となりました。医療連携の新たな加算の取得もあり、収入も目標を上回り、¥102,314,000 となりました。(予算比103%)

令和6年度 木曽東グループホーム収入等実績

(金額単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
①前年度収入実績	8,766	7,668	7,810	8,769	8,398	8,504	8,703	8,487	8,593	8,050	7,848	8,484	100,080
②収入予算	8,150	8,400	8,150	8,400	8,400	8,150	8,400	8,150	8,400	8,400	7,600	8,400	99,000
③収入実績	8,396	8,397	8,157	8,740	8,495	8,386	8,817	8,597	8,808	8,836	8,155	8,530	102,314
④(②-③)差額	-246	3	-7	-340	-95	-236	-417	-447	-408	-436	-555	-130	-3,314
⑤(③/②)予算達成率	103.0%	100.0%	100.1%	104.0%	101.1%	102.9%	105.0%	105.5%	104.9%	105.2%	107.3%	101.5%	103.3%
⑥居室数	540	558	540	558	558	540	558	540	558	558	504	558	6,570
⑦目標稼働居室	535	552	535	553	552	535	553	535	552	552	498	552	6,504
⑧稼働居室	532	535	510	554	534	526	558	540	558	558	503	535	6,443
⑨(⑧/⑦)稼働率	98.5%	95.9%	94.4%	99.3%	95.7%	97.4%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.8%	95.9%	98.1%
四 半 期	⑩居室	1,638			1,656			1,656			1,620		6,570
	⑪稼働居室	1,577			1,614			1,656			1,596		6,443
	⑫(⑪/⑩)稼働率	96.3%			97.5%			100.0%			98.5%		98.1%
入居者数		0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
退居者数		0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2

看護グループ

【総括】

今年度は新型コロナウイルス感染症が第5類となったため、感染対策の緩和をどの様に進めていくかを検討しました。世間的には第5類になったので、感染は収まっていると思われているが実際はクラスターが起きていたりするため、安易に感染緩和とはいきませんでした。各部署の状況を確認しながら注意しつつ、行政の情報も取り入れ行ってきました。

1, 【計画】施設の感染対策を実施します。

【実績】

各部署の業務内容と感染状況を踏まえてどこまで感染対策の緩和を行えば良いかを、検討してきました。各部署で状況がかなり違うため、施設長に相談しながら業務が少しでもスムーズにいくように緩和していきました。

2, 【計画】デイサービスご利用者の健康管理を実施します。

【実績】

今年度は新型コロナウイルス感染症だけでなく、インフル、感染性胃腸炎に罹患する方が多かったです。感染症の人数が増えたときは臨時に感染対策を強化して、クラスターになることはありませんでした。

また、以前からのご利用者でも外部の部署と連携を取りながら毎回処置を行う等、医療依存度が高くなっていることが多くなってきました。そのため注意深く観察し介護職と共に異常の早期発見に努めました。

3, 【計画】特養ご入居者の健康管理を実施します。

【実績】

ご入居者が高齢となり重度化し医療サポートが増加しています。また、新規のご入居者でもすでに介護度が高く、ご入居直後から医療的サポートが必要なケースが増えています。出来るだけ、早朝にトラブルを予測、発見し、予防的ケアが行えるように、多職種とも相談し計画を立案、実施してきました。

第5類の新型コロナウイルス感染症対策のマニュアルを作成しました。

4, 【計画】職員への指導、研修を行います。

【実績】

本年度は感染対策が緩和されたこともあり、個別研修を大人数で同時に研修を行いました。受け身の研修ではなく参加型にしたことにより、より身に付いたと思われます。今後も取り入れていきたいと思います。

総務管理課（法人本部事務局）

1、本部業務及び経理関係

【計画】

(1)本部関係

- ①理事会・評議員会の開催（3回の開催を予定）

(2)経理関係

- ①令和5年度決算業務、②監事監査、資産登記変更手続き、③令和6年度補正予算、④令和7年度当初予算作成、⑤起票処理、⑥小口現金管理、⑦毎月の業務処理報告書の作成（月次試算表等）、⑧各種台帳作成

・運営委員会用財務データの作成と提出

月1回開催する運営委員会用に、月次の収支状況報告書及び、収入・支出の予実対比の推移表を作成し提出する。また、併せて事業活動計算書ベースで作成した複数年対比のサービス活動収益、人件費、経常増減差額等の比較表の作成及び提出。

【実績】

(1)本部関係

- ①理事会・評議員会…年4回の開催、評議員会選任解任委員会…1回の開催、
②理事の欠員が生じ、それに伴い新たな理事、評議員、評議員選任解任委員を選任致しました。

(2) 経理関係

- ①令和5年度決算書作成（理事会承認：5/25、評議員会承認 6/15）、②監事監査、資産変更登記手続き（監事監査：5/20）、③令和6年度第一次補正予算（理事会承認：11/30、評議員会承認：12/21）、④第二次補正予算、令和7年度当初予算（理事会承認：3/12、評議員会承認：3/24）、⑤月次業務処理報告書（月次試算表等）の作成、⑥本部・財務に関する内部監査：4/11、10/10

・運営委員会用財務データの作成と提出

月1回開催する運営委員会用に、月次の収支状況報告書及び、収入・支出の予実対比の推移表を作成し配付。また、併せて事業活動計算書ベースで作成した複数年対比のサービス活動収益、人件費、経常増減差額等の比較表の作成及び配付。更に今年度は1月より資金収支計算書ベースでの複数年対比のグラフも配付し資金残高の動きも説明の上、共有しました。

2、給与、労務管理業務

【計画】

(1)通常業務

- ①勤怠管理、給与支給業務、②月次勤務表作成、③年末調整：12月、④支払調書、法定調書の作成提出：1月、⑤職員定期健康診断等の実施…8月（夜勤業務従事者については、8、2月、年2回の実施）、ストレスチェック…10～11月、職員インフルエンザ予防接種…11月ごろから、⑥職員入職・退職手続き（随時）、⑦社会保険加入手続き（随時）⑧介護職員処遇改善手当支給手続き（計画書及び実績報告書作成、提出）

- ・令和6年度介護報酬改定で介護職員処遇改善加算は一本化となる予定であるが、確定した内容によって新体系での対応を行う予定。

【実績】

- ①～④は予定通り実施、⑤職員定期健康診断等の実施、…9～10月（夜勤業務従事者については、9～10月と3月、年2回の実施）、ストレスチェック…12月、職員インフルエンザ予防接種…10月、⑥職員入職・退職手続き（随時実施）、⑦社会保険加入手続き（随時）⑧介護職員等処遇改善手当支給手続き（計画書、報告書作成、提出等）
- ・なお、上記⑦に関しては、今年度10月より社会保険の適用が拡大され、事前に職員に周知した上で対象となる職員ごとに確認を行い、契約の見直し、社会保険の新たな加入、脱退手続きを行いました。
- ・今年度の介護報酬改定により新たに一本化され改正された介護職員等処遇改善加算と手当について、新たな支給方法に変更致しました。ただ、全体的な給与体系の見直しについては、その他の業務を優先することとなり今年度は着手できませんでした。来年度に改めて着手致します。
- ・令和6年度東京都介護職員・介護支援専門員居住支援特別手当事業を申請し活用致しました。

(2)その他業務見直し等

【計画】

①クラウドシステムの定着と業務の見直し

昨年度、急遽入れ替えることとなった勤怠システムに支障があり、昨年度下半期に再度、新システムを導入することとなりました。その為今年度は、急ぎ同システムの定着、また給与業務との速やかな連携に努め、効率的な運用に向け取組んで参ります。

②令和6年10月から開始となる社会保険適用拡大への対応

③介護職員不足への対応

介護職員の人材不足については以前より全国的な問題となっています。高齢化が進み介護ニーズが増大していく一方、少子化により今後、生産年齢人口が減少し介護職員不足となっていくことが問題視されています。本会でもここ数年、介護職員不足が続きその解消が課題となっており、本課題について、今年度も引き続き各種見直しに取り組み問題解消に努めます。

④ハラスメント対策の強化

【実績】

①クラウドシステムの定着と業務の見直し

⇒ 勤怠システムについては支障なく運用も定着致しました。

②令和6年10月から開始となる社会保険適用拡大への対応

⇒ 半年ほど前より、社会保険適用拡大の件について周知し、該当する職員個々に相談を受けながら対応致しました。

③介護職員不足への対応

⇒ 職員紹介業者からの紹介や、町田市ハローワークと町田市介護人材開発サービスセンター共催の介護・福祉の相談面接会への出席など、各種媒体にアンテナを立てながら直接雇用を進めて参りました。特に特養については、その甲斐もあり、この一年でも派遣職員に頼る割合が大きく減少しました。

④ハラスメント対策の強化

⇒ 9月にリーダー層向けにパワハラのカリキュラムを取り上げ、ハラスメント対策として研修を行いました。

3、各種法令点検等

【計画】

避難訓練（年2回）、消防設備点検及び消防設備の説明会（年2回）、エレベーター点検（月次）
建築設備定期点検（年1回）、貯水槽清掃・点検（年1回）、簡易専用水道検査（年1回）、正面
玄関自動ドア保守点検（年2回）（ケアセンター成瀬）。

【実績】

別紙一覧表参照

4、その他

【計画】

(1)災害対策訓練等

- ①BCP（自然災害）に基づく研修と訓練の実施。
- ②避難確保計画に基づく訓練の実施。

(2)調査関係

- ①令和5年度現況報告書等の届出（財務諸表等電子開示システムによる）
- ②福祉医療機構への令和5年度事業報告書の提出
- ③その他行政各種からの調査

(3)主な委員会の開催

- ①運営委員会：毎月
- ②感染対策委員会：原則隔月
- ③研修委員会：毎月
- ④広報委員会：年5回
- ⑤給食委員会：毎月
- ⑥衛生委員会：毎月

(4)広報関係

- ・広報誌「けあなる」、年2回発行予定

(5)社会貢献活動

- ①週一回の施設周辺清掃活動の実施
- ②「ケアセンター成瀬まつり」の開催検討

(6)介護ソフト切り替え準備

(7)大規模修繕計画の作成

【実績】

(1)災害対策訓練等

- ①BCP（自然災害）に基づく研修と訓練の実施。（研修：1/30、訓練：2/27）
- ②避難確保計画に基づく訓練の実施。（8/29）

(2)調査関係

- ①令和5年度現況報告書等の届出（財務諸表等電子開示システムによる）
- ②福祉医療機構への令和5年度事業報告書の提出
- ③今年度より開始した「介護サービス事業者経営情報データベースシステム」について、令和5年度分の実績を提出
- ④その他行政各種からの調査対応

(3)主な委員会の開催

- ①運営委員会：毎月
- ②感染対策委員会：原則隔月
- ③研修委員会：毎月
- ④広報委員会：年5回
- ⑤給食委員会：毎月
- ⑥衛生委員会：毎月
- ⑦虐待防止委員会：2回

(4)広報関係

- ・広報誌「けあなる」、年2回発行予定

今年度は予定通り、8月と2月の2回、広報誌「けあなる」No.46、47を発行致しました。

- ・ホームページの見直し

本会ホームページの見直しを行いました。特にデイサービスについてはサービスの内容が分かりやすいようにレイアウトを改善致しました。

(5)社会貢献活動

- ①週一回の施設周辺清掃活動の実施

…雨天を除き原則毎週水曜日に実施しました。

- ②「ケアセンター成瀬まつり」の開催検討

…今年度は感染対策等考慮し、実施を見合わせました。

(6)介護ソフト切り替え

従前より使用していた介護請求システムが、令和7年3月末をもって提供が終了することとなり、令和5年度よりこれに変わる新たなシステムの選定、導入を進め、その後業者より令和6年10～11月の間に操作説明を受け、この間11月実績分より本稼働となりました。

(7)大規模修繕計画の作成

今年度は、12月、1月の2度にわたり業者による建物診断を受けました。結果は次年度の始めに出る予定で、当該結果を基に今後の大規模修繕計画を立案していく予定です。

(8)実地指導

11月7日に法人本部の実地指導を受けました。特に大きな指摘事項はありませんでした。

なお、今年度は法人本部以外に、地域密着型特別養護老人ホーム・暖家、ケアマネジメントセンター、ヘルパーステーション、グループホームと5つの部門で実地指導を受けました。

5. 総括

今年度も引き続き、人材不足の解消に取り組み、特に派遣会社に頼っている特別養護老人ホーム・暖家の直接雇用を進めて参りました。全国的な介護職員不足、生産年齢人口の減少もあつてか、ここ数年応募者が減っていましたが、継続的に進めた結果、派遣職員への依存割合はかなり解消されました。併せて派遣職員にかかる費用も減少致しました。

また、昨今介護業界でもICTの活用が強く要求されております。今年度はグループホームを除く介護サービス事業所で、従前より使用していた介護請求システムを同システムの提供が終了となることから急遽入れ替えることとなり、そのために時間を費やす年度となりました。導入後、操作方法のレクチャーを受け、運用を開始するまで数か月かかり、日々の業務と同時並行で進めるのに時間と労力を要しました。一方、人手不足への対策として、ICTの活用が必須になっていることを改めて認識した次第です。

また、昨年度着手することができなかった大規模修繕計画に関しては、今年度は建物診断を受け、第一歩を踏み出すこととなりました。引き続き次年度、優先順位を踏まえ計画立案に向け進めることにな

ります。かかる費用面からも当然検討する必要があり、こちらも一筋縄では行かず、十分に検討を重ねる必要があるものと想定しております。

その他、令和6年度介護報酬改正により一本化された介護職員等処遇改善加算についても支給内容を見直しました。令和6年度は介護人材不足に加え、物価高騰など社会的問題及び社会的な変化の影響を多々実感する一年でした。

令和6年度 避難訓練・建物点検等実施一覧表

項目 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	回数合計
避難訓練						9/13						3/14	2
総合訓練 (消防設備等)				8/27							1/27		2
消防設備点検				8/27							1/27		2
避難確保計画による訓練				8/29							1/27		2
ボイラー点検						9/18							1
建築設備定期点検									12/3				1
水質検査		5/20											1
受水槽・汚水槽清掃・点検		5/17											1
エレベーター点検	4/16	5/21	6/18	7/16	8/20	9/17	10/15	11/19	12/17	1/21	2/18	3/18	12
電気設備点検		5/21		7/17		9/18		11/22		1/23		3/7	6
非常用自家発電機メンテナンス									12/4				1
自動ドア保守点検				7/29						1/23			2

※上表の日付は、各項目の実施日を表しています。

令和6年度 各種会議・委員会の実施状況

1、理事会(計4回)

開催日	議 題 他
5月25日	第1号議案 理事長、常務理事の業務執行状況の報告
	第2号議案 令和5年度事業報告の件
	第3号議案 令和5年度決算報告及び監査報告の件
	第4号議案 理事の欠員と補充について
	第5号議案 定時評議員会に関する招集事項決定の件
7月18日 決議省略	第1号議案 評議員辞任の件
	第2号議案 評議員選任・解任委員辞任の件
	第3号議案 理事候補者選出の件
	第4号議案 評議員候補者選出の件
	第5号議案 評議員選任・解任委員の選任の件
	第6号議案 評議員選任・解任委員会の召集の件
	第7号議案 評議員会の招集の件
11月30日	第1号議案 理事長及び常務理事の業務執行報告
	第2号議案 短期借入金更新の件
	第3号議案 令和6年度第一次補正予算の件
	第4号議案 介護保険請求システム「ほのぼのNEXT」リース契約の件
	第5号議案 認知症対応型通所介護事業休止延長の件
	第6号議案 就業規則一部改定の件
	第7号議案 定時評議員会に関する招集事項決定の件
3月12日 決議省略	第1号議案 給食業務委託契約の件
	第2号議案 令和6年度第2次補正予算の件
	第3号議案 令和7年度事業計画の件
	第4号議案 令和7年度事業計画の件
	第5号議案 評議員会の招集事項の件

2、評議員会(計4回)

開催日	議 題 他
6月15日	第1号議案 理事長の業務執行状況の報告
	第2号議案 令和5年事業報告の件
	第3号議案 令和5年度決算報告及び監査報告の件
	第4号議案 理事の欠員と補充の件
8月9日 決議省略	第1号議案 評議員辞任の件
	第2号議案 評議員選任・解任委員辞任の件
	第3号議案 評議員候補者選出の件
	第4号議案 評議員選任・解任委員の選任の件
	第5号議案 評議員選任・解任委員会の開催の件
	第6号議案 理事選任の件
12月21日	第1号議案 理事長の業務執行の報告
	第2号議案 短期借入金更新の件
	第3号議案 令和6年度第一次補正予算の件
	第4号議案 介護保険請求システム「ほのぼのNEXT」リース契約の件
	第5号議案 認知症対応型通所介護事業休止延長の件
	第6号議案 就業規則一部改定の件

開催日	議 題 他
3月24日 決議省略	第1号議案 給食業務委託契約の件
	第2号議案 令和6年度第2次補正予算の件
	第3号議案 令和7年度事業計画の件
	第4号議案 令和7年度当初予算の件

3、運営委員会(計12回)

開催日	議 題 他
4月25日	・理事長あいさつ ・令和6年3月度収支報告 ・令和5年度事業報告について ・避難確保計画による避難訓練について ・虐待防止委員会 ・特養・暖家人事について
5月30日	・理事長あいさつ ・令和5年決算及び4月度収支報告 ・かがやきぷらん2終了による請求ソフト切り替えの件
6月27日	・理事長あいさつ ・令和6年5月度収支報告 ・夏季手当、及び令和6年度処遇改善手当について
7月25日	・理事長挨拶 ・令和6年6月度収支報告 ・令和6年度避難確保計画の避難訓練実施について ・令和6年度処遇改善手当について
8月29日	・理事長挨拶 ・令和6年7月度収支報告 ・令和6年度避難確保計画の避難訓練の実施 ・令和5年度上半期人事考課面談の件 ・避難訓練実施の日程調整 ・広報委員会の開催の日程調整
9月26日	・理事長挨拶 ・令和6年8月度収支報告 ・最低賃金引き上げに伴う労働条件通知書の差替え ・ハラスメント対策(ミニ研修) ・令和6年度事業計画に関する上半期総括提出依頼の件 ・介護請求システム「ほのぼの」のインストール及び「かがやき」からのデータコンバート作業
10月31日	・理事長挨拶 ・令和6年9月度収支報告 ・令和6年度上半期総括
11月28日	・理事長挨拶 ・令和6年10月度収支報告 ・年賀状の件 ・就業規則の一部改定について
12月26日	・理事長挨拶 ・令和6年11月度収支報告
1月30日	・理事長挨拶 ・令和6年12月度収支報告 ・令和7年度事業計画について ・令和6年度BCP研修 ・次年度36条協定について
2月27日	・理事長挨拶 ・令和7年度1月収支報告 ・下半期人事考課について

2月27日	・避難訓練日程調整
	・令和6年度事業報告書作成及び提出について
	・令和6年度BCP机上訓練
3月26日	・理事長挨拶
	・令和7年2月度収支報告
	・処遇改善加算関係
	・公共交通機関(バス)の通勤ダイヤ減少について

4. 感染症対策委員会(計6回)

	議 題 他
5月30日	・感染症流行概況 ・施設内感染状況 ・施設内対応 ・当面の対策や今後に備えた対応等
7月25日	・感染症流行概況 ・施設内感染状況 ・新型コロナウイルス感染症の流行について ・施設内感染対応 ・劇症型溶血性レンサ球菌感染症について ・コロナ抗原検査について
9月26日	・感染症流行概況 ・施設内感染状況 ・施設内対応 ・当面の対策や今後に備えた対応等
11月28日	・感染症流行概況 ・施設内感染状況 ・施設内対応 ・施設内感染状況 ・マイコプラズマ肺炎について ・今後の対応
1月30日	・感染症流行概況 ・施設内感染状況 ・施設内対応 ・当面の対策や今後に備えた対応等
3月26日	・感染症流行概況 ・施設内感染状況 ・施設内対応 ・当面の対策や今後に備えた対応等 ・行政が行ってきた支援が3月末で終了となる件

5. 広報委員会(計5回)

開催日	議 題 他
7月5日	・けあなるNo46号について
8月9日	・けあなるNo46号の校正について
9月13日	・ホームページの見直しについて

1月7日	・けあなるNo47号について
2月7日	・けあなるNo47号の校正について

6、研修委員会(計12回)

開催日	議 題 他
4月23日	・報告事項…研修実施状況 ・協議事項…今年度の施設内研修計画
5月21日	・報告事項…研修実施状況 ・協議事項…現在案内の来ている研修
6月25日	・報告事項…研修実施状況 ・協議事項…現在案内の来ている研修
7月30日	・報告事項…研修実施状況 ・協議事項…現在案内の来ている研修
8月22日	・報告事項…研修実施状況 ・協議事項…現在案内の来ている研修
9月27日	・報告事項…研修実施状況 ・協議事項…現在案内の来ている研修
10月21日	・報告事項…研修実施状況 ・協議事項…現在案内の来ている研修
11月19日	・報告事項…研修実施状況 ・協議事項…現在案内の来ている研修
12月24日	・報告事項…研修実施状況 ・協議事項…現在案内の来ている研修、検討事項
1月28日	・報告事項…研修実施状況 ・協議事項…現在案内の来ている研修、検討事項
2月25日	・報告事項…研修実施状況 ・協議事項…現在案内の来ている研修、検討事項
3月27日	・報告事項…研修実施状況 ・協議事項…現在案内の来ている研修、検討事項

7、衛生委員会(計12回)

開催日	議 題 他
4月25日	・巡視報告 ・その他
5月30日	・巡視報告 ・その他
6月28日	・巡視報告 ・その他
7月25日	・巡視報告 ・その他
8月29日	・巡視報告 ・その他
9月26日	・巡視報告 ・その他
10月31日	・巡視報告 ・その他

11月28日	・巡視報告 ・その他
12月28日	・巡視報告 ・その他
1月31日	・巡視報告 ・その他
2月27日	・巡視報告 ・その他
3月26日	・巡視報告 ・その他

8、給食委員会(計12回)

開催日	議 題 他
4月1日	・各部署の報告 ・検食結果 ・入居者栄養管理
5月6日	・各部署の報告 ・検食結果 ・入居者栄養管理
6月3日	・各部署の報告 ・検食結果 ・入居者栄養管理
7月1日	・各部署の報告 ・検食結果 ・入居者栄養管理
8月5日	・各部署の報告 ・検食結果 ・入居者栄養管理
9月2日	・各部署の報告 ・検食結果 ・入居者栄養管理
10月7日	・各部署の報告 ・検食結果 ・入居者栄養管理
11月4日	・各部署の報告 ・検食結果 ・入居者栄養管理
12月2日	・各部署の報告 ・検食結果 ・入居者栄養管理
1月6日	・各部署の報告 ・検食結果 ・入居者栄養管理
2月3日	・各部署の報告 ・検食結果 ・入居者栄養管理
3月3日	・各部署の報告 ・検食結果 ・入居者栄養管理

9、虐待防止委員会(計2回)

開催日	議 題 他
6月27日	・「指針」、「ヒヤリハット」書式の変更点の確認、各部署のスタッフへの周知方法等の確認。 ・提出のあった事案についての検討。
3月26日	・2/27に開催した虐待防止研修の報告 ・各部署からの報告 ・2025年度年間計画について

11/29～3/21(内3日)	ケアマネ職員	2024年度リーダー研修「介護リーダー実践力強化研修」
11/8～2/28	特養職員	東京都介護サービス事業管理者研修
11/29～3/21(内2日)	デイ職員	2024年度リーダー研修「介護リーダー実践力強化研修」
11/29～3/11(内3日)	特養職員	2024年度リーダー研修「介護リーダー実践力強化研修」
12月7日	特養職員	介護福祉国家試験受験対策直前講座
12月7日	ケアマネ職員	高齢社会を共に生きる
12月9日	ケアマネ職員	虐待防止研修
1月8日	看護職員	特養における看護職員の役割
1/7～2/7	特養職員	介護報酬事務に関する研修会
2月28日	看護職員	看護管理の基本
3月27日	ケアマネ職員	ヤングケアラーの理解とケアマネジャーの役割について
3月31日	グループホーム職員	認知症介護基礎研修

令和6年度各種研修報告

1、内部研修開催実績

①「施設内研修」

研修委員会で計画した全職員を対象にした研修。今年度は5つのテーマで実施致しました。

日付	講師	研修内容
6月20日	デイ主任	入浴介助と移乗介助
9月19日	グループホーム長	認知症ケア
10月24日	看護グループ主任	感染防止研修、BCP(感染症)の説明
2月27日	ケアマネ主任、特養主任	虐待防止研修
3月27日	外部講師	高齢者の消費生活トラブルを防ぐ為には？

②基本研修

主にこの1年間に入社した職員に向けた基本テーマを取り扱った研修。テーマは、本会の理念、創設の経緯といった本会の成り立ちから始まり、介護保険制度の概要、ビジネスマナーや、個人情報保護、身体拘束の禁止の知識等を取り上げました。

日付	講師	研修内容
3月4日	理事長、ケアマネ主任	創和会の創設の経緯、及び理念について、 介護保険制度について、他

2、外部研修実績(リモートでの参加含む)

日付	職種	研修内容
5/22～6/28	ケアマネ職員	2024年介護報酬改定について
5/27, 6/17, 7/8	ケアマネ職員	2024年度 相談援助研修初級編
5/27～7/8	ケアマネ職員	2024年度相談援助研修
6月13日	デイ職員	普通救命講習会
6月25日	特養職員	認知症介護基礎研修eラーニング
6月26日	グループホーム職員	救命講習
7月25日	ケアマネ職員	相談援助職の倫理
7月28日	ケアマネ職員	日本在宅ケアサミット2024
7月28日	グループホーム職員	日本在宅ケアサミット2024
7月28日	HS職員	日本在宅ケアサミット2024
8月21日	総務職員	採用担当者応援セミナー
8月28日	ケアマネ職員	ALS治療最前線
9月26日	ケアマネ職員	令和6年度介護報酬改定について
10月26日	特養職員	認知症介護基礎研修eラーニング
10月28日	ケアマネ職員	多系統萎縮症と脊髄小脳変性症についての講演会
10月29日	総務職員	採用担当者研修・情報交換会
10月29日	特養職員	科学的介護情報システムによる科学的介護の推進
10月29日	総務職員	令和6年度安全運転管理者講習
11月28日	ケアマネ職員	町田市ケアマネジャー連絡会

11/29～3/21(内3日)	ケアマネ職員	2024年度リーダー研修「介護リーダー実践力強化研修」
11/8～2/28	特養職員	東京都介護サービス事業管理者研修
11/29～3/21(内2日)	デイ職員	2024年度リーダー研修「介護リーダー実践力強化研修」
11/29～3/11(内3日)	特養職員	2024年度リーダー研修「介護リーダー実践力強化研修」
12月7日	特養職員	介護福祉国家試験受験対策直前講座
12月7日	ケアマネ職員	高齢社会を共に生きる
12月9日	ケアマネ職員	虐待防止研修
1月8日	看護職員	特養における看護職員の役割
1/7～2/7	特養職員	介護報酬事務に関する研修会
2月28日	看護職員	看護管理の基本
3月27日	ケアマネ職員	ヤングケアラーの理解とケアマネジャーの役割について
3月31日	グループホーム職員	認知症介護基礎研修

施設内事故発生状況

発生日	種類	受傷者/破損物品	事故内容
4月3日	入居者	グループホーム 入居者	服薬忘れ
4月23日	入居者	グループホーム 入居者	転倒
4月26日	利用者	ヘルパー利用者	転倒
4月27日	職 員	ヘルパー職員	薬セット忘れ
6月17日	職 員	ヘルパー職員	利用者宅へ 入る
6月25日	職 員	ヘルパー職員	利用者宅へ入 る。食材処分
7月11日	職 員	ヘルパー利用者	訪問忘れ
7月13日	職 員	ヘルパー利用者	服薬忘れ
7月17日	職 員	ヘルパー利用者	服薬忘れ
7月20日	職 員	グループホーム 入居者	服薬忘れ
7月22日	職 員	利用者宅 風呂の栓	紛失
7月29日	入居者	グループホーム 入居者	誤薬
7月31日	厨房	利用者	調理不具合
8月17日	利用者	グループホーム 入居者	落薬
8月17日	車輻	ヘルパー職員	対車両接 触事故
8月20日	利用者	グループホーム 入居者	落薬
8月21日	利用者	グループホーム 入居者	骨折 (原因不明)
9月3日	車輻	ケアマネ職員	車両に傷の 確認
9月4日	職 員	ヘルパー利用者	誤薬
10月1日	車輻	ケアマネ職員	車両追突も らい事故
10月30日	職 員	グループホーム 入居者	誤薬
11月26日	車輻	ヘルパー職員	対物接触 事故
12月6日	車輻	ヘルパー職員	車両に傷の 確認
12月17日	職 員	ヘルパー利用者	服薬忘れ

発生日	対象/種類	受傷者/破損物品	事故内容
12月18日	車輻	ヘルパー職員	対物接触 事故
12月27日	車輻	デイ職員	対物接触 事故
1月22日	車輻	グループホーム職員	対物接触 事故
1月23日	車輻	ケアマネ職員	対物接触 事故
2月8日	入居者	グループホーム 入居者	転倒
3月13日	職 員	ヘルパー利用者	誤薬
3月27日	職 員	利用者宅食器	物損